

AP-6 の OFFSET と SENSITIVITY の調整



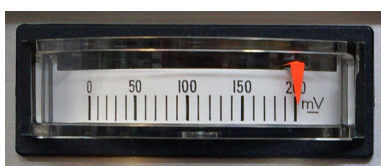
トランスデューサーを接続後、電源を入れて無負荷、負荷 1g、2g の時の出力を調整します。
出荷段階で調整していますが、実験の前には電源投入後 10 分程度してから調整の確認をして下さい。
レコーダーは接続しなくても動作しますが、トランスデューサーは必ず接続して下さい。未接続や断線の場合は ALARM が点灯（赤）します。



トランスデューサーに負荷をかけない状態で、OFFSET のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 0mV に合わせます。



トランスデューサーに 1g の負荷をかけます。
SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 100mV に合わせます。



トランスデューサーに 2g の負荷をかけます。
SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 200mV に合わせます。



再びトランスデューサーに負荷をかけない状態で 0mV を示すかを確認し、もしもずれている場合は OFFSET のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 0mV に合わせます。

トランスデューサーに 1g、2g の負荷をかけたときに 100mV、200mV を示すことを確認して下さい。
もしもずれている場合は SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを合わせます。

表示が安定しましたら初期設定は完了です。